



野生イノシシ対策室
マスコットキャラクター
「いのべえ」

2022年4月28日（木）
愛知県農業水産局農政部農業振興課
野生イノシシ対策室
経口ワクチン対策グループ
担当 小出、城田
内線 5200、5203
ダイヤルイン 052-954-6725

野生イノシシにおける豚熱ウイルスの浸潤状況調査の結果 (2022年1月～3月分) について

愛知県では、豚熱の発生を防止するために、2019年3月から野生イノシシへの経口ワクチンの野外散布を実施するとともに、野生イノシシから検体を回収し遺伝子検査^{※1}及び抗体検査^{※2}を行うことで、野外における豚熱ウイルスの浸潤状況を調査しています。

この度、2022年1月から3月までの調査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

1 調査結果（詳細は裏面の表①参照）

（1）豚熱に感染したイノシシの状況について

2022年1月から3月までの検査頭数（遺伝子検査の結果が判明したイノシシの頭数）は205頭でした。そのうち、西三河地域において3頭の豚熱に感染したイノシシが確認され、前回結果（10月～12月分）から、県全体の感染率は0.1%、西三河地域の感染率は1.8%上昇しました。

（2）豚熱の免疫を獲得したイノシシの状況について（詳細は裏面の表②参照）

2022年1月から3月までの検査頭数（遺伝子検査と抗体検査の両方の結果が判明したイノシシの頭数）は185頭でした。そのうち、免疫獲得頭数は50頭で、前回結果（10月～12月分）から県全体の免疫獲得率は10.4ポイント上昇の27.0%となりました。

地域別に見ると、尾張地域で12.0ポイント、西三河地域で13.1ポイント、東三河地域で9.2ポイント上昇しています。

引き続き、豚熱の更なる発生を防止するため、野生イノシシ全体の免疫獲得率が高まるよう経口ワクチンの散布を継続していきます。

※1 「陽性」であれば豚熱に感染しており、「陰性」であれば感染していない。

※2 「陽性」であれば豚熱に対する免疫を獲得しており、「陰性」であれば獲得していない。

2 地域ごとの調査結果（調査期間：2022年1月～3月）

（1）豚熱に感染したイノシシの状況について（表①）

地域名	今回結果 1月～3月	前回結果 10月～12月	増減 (ポイント)
	割合 (感染頭数/検査頭数)	割合 (感染頭数/検査頭数)	
県全体	1.5% (3頭/205頭)	1.4% (4頭/290頭)	0.1
尾張	0.0% (0頭/58頭)	0.0% (0頭/93頭)	0.0
西三河	5.8% (3頭/52頭)	4.0% (4頭/100頭)	1.8
東三河	0.0% (0頭/95頭)	0.0% (0頭/97頭)	0.0

注1) 感染頭数は、検査頭数のうち、遺伝子検査が「陽性」の頭数を集計したものです。

注2) 検査頭数は、各市町村の散布期間中及び最終散布日から14日間を除いた期間に発見された野生イノシシのうち、発見日を基準として、遺伝子検査の結果が判明した頭数を集計したものです。

（2）豚熱の免疫を獲得したイノシシの状況について（表②）

地域名	今回結果 1月～3月	前回結果 10月～12月	増減 (ポイント)
	割合 (免疫獲得頭数/検査頭数)	割合 (免疫獲得頭数/検査頭数)	
県全体	27.0% (50頭/185頭)	16.6% (46頭/277頭)	10.4
尾張	22.2% (12頭/54頭)	10.2% (9頭/88頭)	12.0
西三河	35.0% (14頭/40頭)	21.9% (21頭/96頭)	13.1
東三河	26.4% (24頭/91頭)	17.2% (16頭/93頭)	9.2

注1) 免疫獲得頭数は、検査頭数のうち、遺伝子検査が「陰性」かつ抗体検査が「陽性」の頭数を集計したものです。

注2) 検査頭数は、各市町村の散布期間中及び最終散布日から14日間を除いた期間に発見された野生イノシシのうち、発見日を基準として、遺伝子検査と抗体検査の両方の結果が判明した頭数を集計したものです。

【今回の調査期間中、検査を実施した野生イノシシの検体が回収された市町村】

- ・尾張地域：瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市、長久手市
- ・西三河地域：岡崎市、豊田市、西尾市
- ・東三河地域：豊橋市、豊川市、新城市、田原市、東栄町

野生イノシシの豚熱検査結果と豚熱浸潤状況調査結果については、以下の愛知県農業振興課Webページにて公表しています。

URL : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-shinko/kensa.html>